

平成二十四年度 創業者助成制度受賞企業 選ばれた五社のビジネス②

しえん計画

代表 金子 武史



誰でも気軽に簡単に使える介護・防災用具を

「東日本大震災で、歩行が困難な身障者は、どのように非難したのか、被害の状況はどうだったのか、心配しているうちに考え付いたアイデアが、担架を椅子のように折り曲げた福祉・防災用具『いすたんか』だった」と語る金子代表。縦幅がなく、狭いところでも小回りがきき、階段の昇降や乗り物への移乗の際に便利で、すでに実用新案も取得している。介護現場をはじめ、事故・災害時に役立つ防災用具として需要が見込まれる点などが評価され、優秀創業者賞を受賞した。「このアイデアを思いついてから、およそ一年かけて製品化に至りました。福祉施設などでモニター試用してもらいながら改良を重ね、より安全



福祉用具「いすたんか」

階段で使っている様子

に使っていただける製品となるよう研究しています。モニターからは、「もつとコンパクトにできないか」という意見もいただいています。組み合わせが難しくなったり、価格が高くなったりすると、使える人も限られてくるので、「簡単に誰でも使えるものを」というこだわりを持って作っています」と語る。

また、当所がマスコミに向けて合同記者発表の場を提供する「プレスリリースナビ」にも参加し、テレビや新聞で報道されるなど、当所事業を活用し、積極的に販路拡大を目指している。「今後は、ユニバーサルデザイン商品を開発していきます。現在試作しているのは、目の不自由な方向けの文房具です。どんな製品も『誰でも気軽に使える』を念頭に置きながら開発を進めていきます」。

しえん計画

札幌市東区北26条東1丁目4-15-205
電話:011-743-4477

株式会社立歩

代表取締役 森山 加亜奈



北海道発信の衣類ブランドを確立し、自立したい女性を応援する



人気のマタニティウェア

起業のきっかけは、二児の母でもある森山社長自身の経験からだ。「市販のマタニティウェアは

以前もこのコーナーに登場してくれた(株)立歩の森山社長が、優秀創業者賞を受賞した。

同社は十代・二十代の若い女性をメインターゲットに、機能的で可愛いマタニティウェアと作業服を提案している。市場性、獨自性などの点で高い評価を受けた。

値段が高い上に、妊娠中にしか着れないものが多く、気軽におしゃれが楽しめるものが少ないことに気づきました。ファッション性が高く産後も着られるマタニティウェアを求めている妊婦さんに喜ばれています」と語る。
また、輸入販売のほかに、オリジナルブランド「KAANA」を展開。素材やデザインの一部をオーダーメイドで作ることができる作業服を中心に、北海道発信ブランドとしてメディアなどで取り上げられ、注目を集めている。
会社名の「立歩」には、「社会に立ち、ともに歩んでいく」という意味が込められており、社会復帰を望むシングルマザーなど、社会的弱者を積極的に採用し、自立のチャンスを与えられる会社を目指している。



「KAANA」の作業服

「これまで一人で仕事をこなしてきましたが、最近は受注も好調で顧客も増えてきたので、今春から従業員を雇うことになりました。子どもがいても安心して働ける労働環境を整えていきたいです」と意気込む。

(株)立歩

札幌市東区北40条東18丁目2-15
電話:011-788-4294

株式会社HYK

代表取締役 上保木 聡志



だれもがハッピーになれる仕組み作り



同社の青果店「上保木青果」の店頭

冬は北海道産の野菜が手に入りづらくなる。青果店を営む(株)HYKでは、冬でも店頭で道産のものを並べたいという思いから、道産野菜の大根、生姜、椎茸、ごぼうなど、数種類の乾燥野菜を製造し、ホームセンターのホームマックなどでも販売している。今回の創業者助成制度では、



乾燥野菜シリーズ

「地域資源活用」などの点で評価された。「いつでも道産のものを店頭に並べたいという思いのほかに、冬の期間の雇用創出として、社内の人手だけでなく、市内二カ所の障害者就労支援センターに野菜のカットとパッケージの仕事を依頼しています」と話す上保木社長。

「この乾燥野菜製造に関わるすべての人たちがハッピーになれる仕組みを作りたいと考え取り組んでいます。一般的には売れない規格外野菜を農家から買い取り、障害者の方に仕事を提供させていただく。販売する当社としても、年中、道産のものを店頭で並べていられるという強みがあります」と語るように同社の社名には「北海道のやる気を応援する会社」という意味がある。今後は野菜以外にも、道産果物を乾燥させ、新たにもう一カ所の障害者就労支援センターへ仕事を依頼する予定で、このハッピーの輪がどんどん広がっていく。

「今後は、助成金を活用して、パッケージを一新させるほか、『北のブランド』の認証を目指して、付加価値をより高めていきたいと思っています」。

(株)HYK

札幌市清田区平岡5条2丁目3-5
電話:090-1387-9240